

# 予算質疑

令和5年第2回定例会（3月10日～14日）において、  
令和5年度各会計当初予算の審議を行いました。  
予算質疑、総括質疑の内容を要約して掲載します。



**■ハイヤー利用助成事業**  
**質問** 前年度予算と比較して、約300万円減額の理由は。  
**答弁** 対象者の拡充を行った令和4年度及び過去の実績を勘案した中、執行率を予測して積算したものである。  
**質問** 当初より利用対象者が拡充されているので、より利用しやすい体制、事業へと進展させてほしい。  
**答弁** 利用時間や台数、行き先の選択の問題等、様々な声を町民の方から聞いている。令和5年度に設置の「法定協議会」の中で、事業体の在り方、サービスの内容、担い手等の人材面も含めた協議を行い、町民の皆さんの生活の利便性が向上する交通政策を構築していきたい。  
**質問** 本事業は、高齢者等の運転免許証の返納につながっていないか。

**■地域公共交通アドバイザー**  
**質問** 業務の委託先は。また、アドバイザーはいつまで活用するのか。  
**答弁** 利用していただくのが一番だが、実績を出すためだけではなく、生活をする上での交通の在り方を見定める意味での実証実験でもある。結果を踏まえ、新しい交通の在り方につなげていきたい。  
**■実証実験バス運行業務**  
**質問** 現在のところ利用者が少ないが、路線、時期等も含め、地域交通の在り方につながる実証実験としてほしい。  
**答弁** 利用していただくのが一番だが、実績を出すためだけではなく、生活をする上での交通の在り方を見定める意味での実証実験でもある。結果を踏まえ、新しい交通の在り方につなげていきたい。  
**■営業時間等様々な利便性の問題からして、中々自家用車を手放せないのでは。**  
**答弁** 事業開始からの3年間で46人の町民の方が免許を返納し、本町に限らず交通施策との相乗効果で返納の意識が醸成されてきていると警察から聞いている。現状は、75歳になったら免許を手放すというほど交通施策が充実しておらず、特に町外に出られる交通網が重要になると思っている。高齢者の方の交通の安全を担保できる地域交通のあり方を模索したい。

**■ケアハウス温泉利用設備定期修繕事業**  
**質問** 575万円の予算が計上されているが、開設して数年で大きな修理が必要なのか。  
**答弁** ヒートポンプ機器の修繕で、5年若しくは2万時間に一度、施設の暖房・冷房設備維持のために必要なオーバーホールの費用である。  
**■斜里地域子ども通園センター**  
**質問** 子育て世代包括支援センターの設置により、通園センターへの通所状況に変化はあったか。  
**答弁** 以前は、通園センターに入る前の相談の予約が取りづらく、通いたくても通えない事例があったが、発達相談の枠が増え、今はほぼ解消されている。相談には必ず子育て世代包括支援センターの保健師等が同席し、保護者との調整等を行い、現在は通園できていない子どもはいない。

**■資格職員確保支援事業**  
**質問** 1名分の予算が計上されているが、これは採用が確定した職員分か。  
**答弁** 採用確定の保健師1名分の費用を計上している。  
**■配食サービス事業**  
**質問** 39人分の予算が措置されているが、今後この需要は伸びる傾向にあるか。また、提供事業者の確保は充分か。  
**答弁** 今後、高齢者の一人暮らし世帯が増えると、配食サービスも増えていくと考えている。需要が増えると、提供事業者の確保が課題であり、新しい事業者も含めて確保、開拓していきたい。



# 新年度のまちの予算をチェック!

## ～ 令和5年度予算審議 ～

# 3月(第2回)定例会

令和5年3月10日～14日

### 一般会計

一般会計予算歳出 前年度比較		令和5年度(A)千円	令和4年度(B)千円	比較(A)-(B)千円
議会費		42,974	45,664	△2,690
総務費		1,314,643	1,254,415	60,228
民生費		888,596	861,196	27,400
衛生費		474,337	503,779	△29,442
農林水産業費		246,821	292,424	△45,603
商工費		95,775	187,296	△91,521
土木費		464,483	499,360	△34,877
消防費		193,275	238,290	△45,015
教育費		498,175	673,034	△174,859
公債費		778,921	831,542	△52,621
予備費		1,000	1,000	0
合計		4,999,000	5,388,000	△389,000

**■ふるさと特産品PR事業**  
**質問** PRにより、まだまだふるさと納税が伸びる可能性があるとの、広告料の有効活用を。  
**答弁** 紙媒体や専門サイトへの広告掲載を行っているが、他の媒体の活用や掲載サイトを増やすなどの工夫を行い、納税数の増加に努めたい。  
**■施設石綿調査業務委託料**  
**質問** 7ヶ所の予算が計上されているが、予定施設はどこか。  
**答弁** 今後、解体又は改修事業が行われる場合の事前調査のため

**■温泉施設指定管理業務委託料**  
**質問** 昨年と比較して、委託料が増大している理由は。  
**答弁** 電気料金の高騰による増額で、積算は電力会社の試算による。パラスランドは、人件費の見直しも含んでいる。  
**■インボイス対応レジシステム**  
**質問** 業務量等から判断して、リース料金は妥当な金額か。  
**答弁** ネットで調べれば安価なものもあるが、町が用意して適切なパラスランドの管理運営を行ってもらうための積算である

る。温泉、売店、食堂の三分分で、野菜の直売等の清里仕様も含めた予算を計上している。  
**■パラスランド営業時間**  
**質問** 温泉客や観光客等の利便性を考えると、売店やレストランの営業時間の延長、見直し等の検討が必要ではないか。  
**答弁** 利用者の利便性を考えると、休まず営業するのがベストな状態であるが、労働基準監督署の指摘も踏まえ、休日、営業時間を設定している。現状の職員体制だと難しい面はあるが、施設側と話しをしていきたい。  
**■ホームページ更新事業**  
**質問** リニューアルの更新内容及び更新の周期は。  
**答弁** システムの構築、デザイン・コンテンツの更新、アクセス内容の解析等の機能等の充実を図るもので、5年に一度程度更新している。  
**■町と関連する団体、組織とのリンクも含め、使い勝手の良いサイトにしてほしい。**  
**答弁** 情報やリンク先への移動も含め、使いやすく、見やすいホームページにしていきたい。  
**■町有林の維持管理**  
**質問** 町と関連する団体、組織とのリンクも含め、使い勝手の良いサイトにしてほしい。  
**答弁** 情報やリンク先への移動も含め、使いやすく、見やすいホームページにしていきたい。

**■町有林の維持管理**  
**質問** 町の財産である町有林の管理の基本的な考え方は。  
**答弁** 森林経営計画及び町有林管理計画に基づき、新植、下刈、除間伐等を行っている。  
**■計画に基づいて管理しているのは理解するが、伐期を過ぎている樹木がかなりあり、柔軟な対応を進めてほしい。**  
**答弁** 林齢の高い樹木は早く伐採したいという思いはあるが、5haの枠があり、樹木の状況を確保の上、優先順位をつけて順次実施していきたい。  
**■資格職員確保支援事業**  
**質問** 1名分の予算が計上されているが、これは採用が確定した職員分か。  
**答弁** 採用確定の保健師1名分の費用を計上している。



# 予算質疑

# 予算質疑



**質問** 週2回の配食サービスをもう1回増やす考えはあるか。  
**答弁** 回数増の希望の声は聞くが、委託先の弁当作りの手間や弁当配付のボランティアの確保等の課題がある。

**■大気汚染点検調査業務**  
**質問** 調査の回数は。  
**答弁** ダイオキシンの関係の調査が年2回、ごみ質の分類関係の調査を年4回行っている。

**■農業委員の費用弁償**  
**質問** 前年度に比べて約70万円の減額予算だが、業務に必要な分はしっかり確保してほしい。  
**答弁** 実績等により減額になっているが、定例の会議や調査、研修等、必要な予算については財政と協議して確保する。

**■有害鳥獣捕獲事業**  
**質問** 狩猟免許取得補助の予算が計上されていない理由は。  
**答弁** 令和5年度は骨格予算のため当初予算に計上されていないが、実績等も踏まえて検討し、必要となれば補正予算で対応する。

**質問** 令和4年度の捕獲実績は。  
**答弁** シカ500頭、キツネ28頭、ヒグマ4頭。

**質問** シカの実績が500頭で、予算も500頭分だが、増額は検討されなかったのか。  
**答弁** 鳥獣被害防止計画の捕獲計画及び猟友会の出動状況等を考慮して、500頭を一つの目安としている。

**質問** 銃器以外の捕獲方法を検討することだったが、検討した上で予算の計上か。  
**答弁** 銃器の他、罾猟で捕獲しており、令和4年度は約50頭捕獲。罾も検討しているが、場所等の問題でまだ進んでいない。現在、国有林内での罾撒きで誘引して駆除を行う等、多く獲れる手法を模索している。

**質問** 罾を撒く場所によっては区域外等のシカまで誘引してしまう恐れがある。難しいと思うが、もう少し町寄りの場所での実施はできないか。  
**答弁** 令和3年度、4年度は、

**■学校給食センター**  
**質問** 施設管理事業の予算は計上されているが、今後給食センターの施設整備はどのように考えているか。  
**答弁** 建設から30年近く経過しており、整備が必要と考えている。改修にも多額の経費がかかる積算となっており、アレルギー対応等も勘案すると、教育委員会としては建て替えが望ましいのではないかと検討を重ねている。

**■学校給食センター**  
**質問** 施設管理事業の予算は計上されているが、今後給食センターの施設整備はどのように考えているか。  
**答弁** 建設から30年近く経過しており、整備が必要と考えている。改修にも多額の経費がかかる積算となっており、アレルギー対応等も勘案すると、教育委員会としては建て替えが望ましいのではないかと検討を重ねている。

**■学校の閉校資料**  
**質問** 郷土資料館に、新栄小学校、江南小学校の閉校資料は収められているが、緑町小学校と光岳小学校の資料はどのような対応をされているか。  
**答弁** まだ展示用としては整備をしていない状況のため、両学校に改めて出向き、どういう資料があるか確認の上、整理収集を行っていききたい。

**■外国人英語講師招聘事業**  
**質問** 幼稚園、保育所、小中高等に派遣しているが、目的、効果は。  
**答弁** 外国人英語講師招聘事業は、外国人の日常会話・保育活動を通して異文化への理解を深めるとともに、英語、外国への抵抗感を無くすということを目的としている。

**■中高生海外派遣研修事業**  
**質問** 中学生と高校生の派遣人数及び選考方法は。  
**答弁** 中学生6名、高校生10名を想定している。選考は、中学校、高校から推薦していただき、教育委員会でも面談等を行う予定。学力だけでなく、意欲やコミュニケーション能力等も判断材料として選考に当たりたいと考えている。

**■外国人英語講師招聘事業**  
**質問** 幼稚園、保育所、小中高等に派遣しているが、目的、効果は。  
**答弁** 外国人英語講師招聘事業は、外国人の日常会話・保育活動を通して異文化への理解を深めるとともに、英語、外国への抵抗感を無くすということを目的としている。

山あいの越冬地に近い場所を選定して行っている。銃に関しては、住宅地等の生活環境の場所では発砲しづらい部分があるので、罾等で対応していきたいと考えている。

**■さくらの滝整備事業**  
**質問** 無償で寄附していただいた土地について、駐車場等の整備を早急に進めてほしい。  
**答弁** 第2期観光振興計画を策定したところであり、神の子池、さくらの滝、数年後の国立公園への編入を見据えた斜里岳も含め、本町の観光整備のあり方を考える必要がある。環境省からも知恵を拝借する中、整備の方向性を模索しており、若干時間をいただきたい。

**■商工会・観光協会補助事業**  
**質問** 人件費分の補助が増額になっている理由は。  
**答弁** 商工会補助は、事務局長の人件費について、管内の低位だったのを持続的な人材確保の観点から、中位程度に引き上げを行った。他の職員も、役職等のステップアップにより見直しを行っている。観光協会は、令和5年度に退任予定の専務理事分の先行手当

**■認定こども園推進アドバイザー業務委託**  
**質問** 令和4年度も予算計上されているが、業務の内容は。  
**答弁** 幼児教育相談員で、オホーツクエリアのスーパーバイザーの方との業務委託。認定子ども園の整備に向けての協議の内容への助言が主な業務で、来町による指導も受けている。

**■GIGAスクール運用事業**  
**質問** 新たに損害保険に加入するものと認識するが、既に破損なり不都合な事例があるのか。  
**答弁** 令和4年度の前半で補償

**■教育関連施設の整備**  
**質問** 老朽化している施設も多くあり、まちづくりのデザインと合わせて今後の施設のあり方を早急に検討する必要があるのではないか。  
**答弁** 個別の施設計画をしつかりと作成し、利活用等の方針を決めていきたい。

## 特別会計

**■簡易水道事業**  
**質問** 令和4年度に原油価格・物価高騰対応の支援として、水道使用料の減免を行ったが、負担軽減の実績額は。  
**答弁** 基本料金の減免補助ということで実施し、実績額は1千283万8千円。

**■小水力発電事業**  
**質問** 売電収入として7千500万円計上されているが、令和4年度は事務費等の経費等を差し引いた実質利益はどれぐらいか。  
**答弁** 歳出予算に計上している畑地かんがい協議会交付金の3千100万円が実質的な余剰金という形になる。

**■小水力発電事業**  
**質問** 売電収入として7千500万円計上されているが、令和4年度は事務費等の経費等を差し引いた実質利益はどれぐらいか。  
**答弁** 歳出予算に計上している畑地かんがい協議会交付金の3千100万円が実質的な余剰金という形になる。

### 委員会ほか



**令和5年3月30日**

**清里小学校と武道館の所管事務調査を実施**

総務文教常任委員会は、所管課より、「令和4年度専決処分改善委員会の経過」、「職員安全衛生委員会の経過」、「2040まちづくり構想に係る事業報告」、「中長期財政推計」等について、協議・報告を受けました。また、令和4年度実施事業の

## 委員会活動レポート

「清里小学校大規模改修工事」と「武道館トイレ改修工事」の町内所管事務（現地）調査を実施し、工事の完成状況を確認しました。清里小学校は、令和2年度から工事が始まり、屋根外壁改修、内装「床・内壁・建具」改修、トイレ改修、照明のLED化、エアコン設置など、施設全体の長寿命化を図るとともに、学習環境が改善されました。武道館は、男女大便スペースの拡張、女子トイレ便器数の増、洋式化など、利用者の利便性の向上が図られました。

産業福祉常任委員会は、所管課より、「令和4年度専決処分の概要」をはじめ、「今後の新型コロナウイルスワクチン接種について」等の協議・報告を受けました。

**131名**  
議会動画配信  
(YouTube)  
チャンネル登録者数

議会の動画配信（中継・録画）は、平成30年第5回臨時会（11月30日）から行っており、令和5年3月31日現在のチャンネル登録者数は131人です。配信180本の内、一番視聴が多かったのは令和3年第7回臨時会（8月30日）の清里町長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例案が審議された時の539回でした。

**58**  
数字で知る  
清里町議会  
**18** **22** **14** **16**



### 議会の様子をご自宅などで見ることができます

議会では、インターネット(You Tube)によるライブ中継(生中継)と録画配信を行っています。傍聴に行けない方など、ご家庭のパソコン、スマートフォン等でご覧いただけます。ぜひご利用ください。



清里町議会事務局 YouTube

清里町 議会 動画 検索 問い合わせ 清里町議会事務局 ☎ 25-2188

### 総括質疑

- 歯科医院の誘致は重要な課題
- より良い地域交通の実現を



池下 昇 議員

#### 歯科医院の誘致

**議員** 昨年3月に、広川歯科医院が閉院され、秋以降に町として、北海道や北見医師会等に歯科医の誘致のお願いに行っていると認識しているが、それから約半年経過する中、現在の状況について伺いたい。

**町長** 広川歯科医院閉院後の現在、町内に歯科医院はまだ1軒あるが、将来的なことを考えた場合、長期的に継続していただける歯科医院をもう一軒確保する責務があると思う。

北海道にも相談し、北見歯科医師会、北海道歯科医師会にもお願い、相談等を行っているが、現状は厳しく、見通しが立っていない状況である。

**議員** 本町における歯科医療の重要性を鑑み、歯科医師確保のためには、きよさとクリニック同様の金銭的な大きな支援を考えてみてはどうか。

#### 町長 誘致に当たっては、町としての考え方を示しており、候補が見つければ、その方と具体的な話を詰めることになる。安心して来ていただける支援は考えなければならぬが、町としても「長く本町で開業し、歯科検診業務をはじめ、高齢者施設や学校歯科医として対応いただける方」を望んでいる。正直な話、北海道歯科医師会の事務局の方からは、厳しい話を伺っているが、広川先生とも連携し、何とか、清里町へ来ていただける歯科医を探したい。

**議員** 現実として中々難しいという話は伺ったが、清里町として重要な課題であり、次の方に向かってしっかりと引き継いでほしい。

**町長** 私の残された任期の中で何とか目鼻をつけたらという気持ちで対応するが、どうしても目処が立たない場合は、大きな地域政策課題であり、新しい方に向かってしっかりと引き継ぎたい。

**議員** 令和2年度からハイヤー事業を実施し、現在は75歳以上の方へ地域により1万9千円から11万6千円、また、年齢によりその半額の助成を行っている

#### 地域交通

**議員** 担当課だけに任せるとは、町長自らが事業主の方と会ってお願いしてはどうか。

る。しかしながら、ハイヤーの台数、営業時間等の関係から利用がしづらいという声を聞いている。この現状について、町長はどのように考えているか。

**町長** 高齢者等の交通の不便を解消するため、令和2年度より本事業を開始し、対象者の拡大や助成額の見直し等を行い、評価を得ている。ご指摘のとおり、「希望する時間帯に中々使えない」、「予約が取りづらい」等のご意見を伺っている。事業者と話し合いをしているが、道路運送法の規制や従業員の確保等が厳しく、現状の営業形態になっているとのことである。

**議員** 担当課だけに任せるとは、町長自らが事業主の方と会ってお願いしてはどうか。

**町長** 所管の中で事業者と懇談をしながら解決策に向けて取り組んでおり、直接私が出向いて云々ではなく、現状に合うサービス等について、もう一度担当の方から話をしていきたい。

**議員** 前年度と比べて約300万円減額になっているが、例えばこの減額分を事業者への支援に回すとか、町として事業者の体制等の現状の改善につながる支援を行う考えはないか。

**町長** 全く考えていないとかで



は、今後法定協議会を設置し、その中で地域公共交通計画を作成する。構成員は、町、国、北海道、交通事業者、利用者、運転手の団体等で、町が直接事業者と協議するのではなく、協議会の中で地域の実情に即したより良い交通施策等を議論することになる。

**議員** 協議会で様々な議論がされるのは理解するが、事業者だけでなく、将来的にはマイクロバスを用意するとか、町自らの力で何とかするという考えも必要だと思う。町民にとってより良い地域交通を実現してほしい。

**町長** 計画が出来ても、最終的には経費や収支の問題等が生じ、町がどれだけ支援や事業展開を行うかの整理が必要と認識している。皆さんと知恵を出し合い、利用のしやすい体系を求め、新たな交通施策を生み出していければと考えている。